

日本インプラント臨床研究会

創立35周年記念大会 懇親会と思い出

日時：2009年7月26日(日)

場所：リッツカールトン東京



塩路 昌吾 (東京都)

CISJ35周年おめでとうございます。

東京渋谷で開業しております、塩路昌吾と申します。

創立者、乙部朱門先生の洋行帰りの第1回骨内インプラントBlade Vent Implantの講習会を1973年に受講しました。続いて1974年に初めて骨内インプラントを埋入しました。1980年代、酸化アルミ製のバイオセラムインプラント全盛の折り、10名以下となった会員全員で相浦先生(関東甲信越支部長)、井上先生(アジアインプラント学会会長)、岩永先生(息子さんも会員です)の3名を指導した懐かしい思い

出もあります。

その後、歴代会長のご努力で会員も増加、現在の井汲会長になって200名を超える会員を擁する日本でも実力共に有数の会となりました。1974年の研修会創立当時の会員は、小嶋栄一前会長、井汲勝行先生、私の3名となってしまう、少し寂しくもあり感傷に浸っています。

今年第4回となりました全員発表会も時間は4分と短時間ではありますが、現在応用されているインプラント法、造骨法、審美と全て網羅されており、



創立35周年記念大会



2日間出席することにより、近代インプラントを修得できるという優れ物です。

発表後もクインテッセンス社よりのお力で本が出版される事もあり、大変有意義な勉強会となっております。井汲会長により創設されましたが、今後も継承される事を願っております。

35周年記念祝賀会も盛大に開催されました。場所は東京のヘソ六本木の高級ホテルリッツカールトンでした。

参加人数150名以上。川添堯彬会長を初め日本口腔インプラント学会役員、学会施設関係者と、ど派手な行事が大好きであった創立者乙部朱門先生もお喜びの事でしょう。

親睦委員会担当理事、西山謙三先生、司会の下、

大田善秋副会長の開会の辞で始まりました。続いて井汲憲治会長が来賓の方々へのお礼を言われ、乙部朱門先生より続いた歴代の会長の努力によって、これ程盛大に開催された事に感謝の気持ちを表し、これに驕る事なく気を引き締め運営にあたり、今まで以上に精進して社会に貢献したいと述べられました。来賓の川添堯彬学会会長は会員も10,000名を超え、この隆盛に高ぶらず、施設の責任は大きく、トラブルも多発の折りにインプラント臨床研究会の教育には注目もしていると35周年記念大会のお祝いを言われました。

続いて、相浦洲吉関東甲信越支部長は研究会の功績を称えられ多くの分野で活躍する事に対してお礼とともにお祝いを言われました。





深井眞樹臨床研究会前会長の祝辞と共に乾杯への発声へと進みました。

その後歓談となり、着席型の懇親会でありましたが、右へ左へと縦横無尽に人々が入り乱れ、大いに盛り上がっていました。

王興先生(中華口腔医学会会長)、榎本紘昭先生(新潟再生歯学研究会施設長)、西村一郎先生(UCLA教授)、堤定美先生(日大特任教授)、宮崎隆先生(昭和大学教授)、築瀬武史先生((社)日本歯科先端技術研

究所会長)、ドミニク リヨン先生(シンガポール)、ジョセフ リン先生(フィリピン)らにお祝いのお言葉を頂き、有意義な時間となりました。

また、懐かしい乙部朱門先生の奥様と娘様も招待され、お花が贈呈されました。パソコンによる臨床研究会の歴史も紹介されて楽しいひと時でした。

最後に浅賀寛副会長によるお礼と閉会の辞により2時間半にわたる35周年記念祝賀会は滞りなく盛況のうちに終了しました。

